

## 包括外部監査導入について



松尾 幸宏 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 議会選出、公認会計士、2名の監査委員であるが、業務内容について伺いたい。

**答** 監査委員は市の財政状況を認識しながら行財政を総合的に検討し、関係法令に違反していないか、最小の経費で最大の効果が上げられているか、組織の運営合理化に努めているかという視点に立ち監査を行っています。一般、特別、公営企業会計の毎月の現金出納を検査する例月出納検査を初め各会計の決算審査を行い、

意見書を市長に提出しています。財務に関する事務の執行と経営に係る事業の管理等について定期監査を実施し、必要に応じて指摘等を行い、改善内容を公表しています。また以前は、行政監査で健康福祉会館と市民会館の指定管理の事務の執行状況を監査し、現在は定期監査の中で体育施設、善防園、都市公園等の管理担当を含めた指定管理委託料の監査を行っています。

**問** 他市では包括外部監査を導入し、資産管理・運営、福祉・社会保障を監査テーマに設定し実施、委託費は2年間で1,600万円であるが、交付税措置により実質60万円の経費である。また、監査人は弁護士、公認会計士、行政の実務精通者、税理士の有資格者に限られる。公務員の身分を持た

ず契約により監査を行い、監査機能への信頼感向上が期待される包括外部監査を導入してはどうか。

**答** 現在、外部監査制度導入の主旨の監査機能の公正性と透明性は一定確保されていると考えます。自治体ガバナンスの強化に向けた平成29年の地方自治法改正の主旨も踏まえ、今後監査基準の策定等により現行の監査委員による監査の充実、強化を基本と考えますが、必ずしも包括外部監査の導入の必要性を排除するものではありません。

**意見** 外部監査の導入により事務の効率化を行い、外部の目で、現状の政策や事業が適正であるか調査し公表することで、市民が現在の執行状況に納得していただけるものとする。ぜひ導入に向けて検討していただきたい。

## 加西市の人口について



深田 真史 議員  
(市民連合)

**問** 加西市の人口動態について。

**答** 今年度4月から8月末の5カ月間で、社会増減（転入－転出）が179人、自然増減（出生－死亡）が△82人、合計で97人増加しています。社会増減は日本人の増加が13人、外国人の増加が166人となっています。

**問** 外国人がふえているが、その詳細は。

**答** 加西市の外国人は現在1,117人、国別ではベトナムが

458人、中国が345人、この2カ国で全体の72%を占めています。

**問** 外国人が増加している要因は。

**答** 好調な製造業の業績と人口減少での労働力不足によるものと考えます。平成30年6月のハローワーク西脇管内の製造業の有効求人倍率は2.41で、バブル期を上回る数字です。加西市は製造業が盛んで人手不足も顕著なため、それを補うために外国人技能実習生の受入が増加しており、外国人増加につながっています。

**問** 平成24年7月から住民基本台帳法の改正で、外国人も人口に含まれることになった。外国人がふえてきているが、そもそも市長は「5万人都市再生」や「人口増」は、外国人を含めた数字で考えているのか。

**答** 【市長】「5万人都市再生」においては、外国人、日本人という区別は全くしていません。平成23年の市長選では、外国人による社会増を全く想定していませんでしたが、人口増の呼びかけは外国人がふえる状況もつくってきたと思います。通常は努力で5万人はもう無理だと強く思っていますが、今回予想もしなかった状況になっており、引き続き自信を持って「5万人都市再生」に頑張りたいと思います。

### ■その他の質問項目

- ・ 加西病院の経営について
- ・ 公募型プロポーザルについて
- ・ 戦争遺跡群の文化財価値について
- ・ 市道鶉野飛行場線・市道豊倉日吉線について